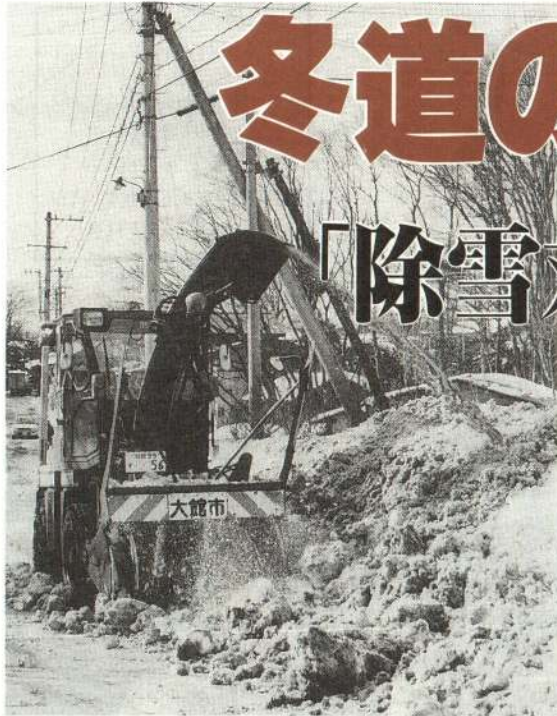


冬道の安全を確保

「除雪対策本部」を設置



長木川に飛来する白鳥の数が目増しに多くなり、いよいよ本格的な冬が始まります。市では、冬道の安全を確保し、快適な生活を保つため、十二月一日、土木課内に「除雪対策本部」を設置しました。二十四時間体制で降雪に備えるとともに、スタッドレスタイヤ時代に対応した安全性確保に万全の態勢で臨みます。

総延長は428キロ

24時間体制で備え

道路の除雪は、国、県、市が役割分担して行います。このうち、市が担当する路線の総延長は四百二十八キロ。その内訳は、市道三百七十四キロ、歩道二十三キロ、私道三十一キロで、前年度に比べ全体で十キロ延びています。また、県北秋田土木事務所では主要地方道や一般県道など百

二十二キロ、大館国道出張所は国道7号の二十七キロ・四キロをそれぞれ担当します。

市の除雪車両は、グレーダーや除雪車など市直営車両十二台と、民間からの借り上げ車両七十七台の合わせて八十九台を用意。これらの機動力に併せ、除雪に携わる各係員も除雪区域のパトロールや気象情報の収集を行い、二十四時間体制で降雪に備えています。

融雪剤散布増やし

脱スパイクに対応

除雪は、一回の降雪量が十センチ以上と予想される場合に、雪の降り方や気象情報に合わせて速やかに行います。交通量の多い幹線やバス路線、通学路など緊急性の高いものから順次行い、車や歩行者の通行に支障をきたさない時刻に終えるよう総力を挙げて取り組みます。通常の場合、作業は午前三時ごろにスタートし、午前七時半ごろ終了をめぐりに進めますが、積雪量や降雪時間によっては作業が遅れる

除雪目標

第1種 (主要幹線)	1日交通量がおおむね1,000台以上。2車線以上の幅員確保を原則とし、異常な降雪時以外は常時交通を確保する。
第2種 (幹線)	1日交通量がおおむね500～1,000台。原則は2車線の幅員確保とするが、状況によっては1車線として待避所を設ける。
第3種 (その他)	1日交通量がおおむね500台以下。1車線の幅員で必要な待避所を設けることを原則とする。

場合もありますので、あらかじめご了承ください。

また市では、脱スパイク、スタッドレスタイヤの増加に対応するため、圧雪の除去、わだち解消に努めるほか、坂道でのスリップ防止策として融雪剤（凍結防止剤）の散布箇所と回数を例年以上に増やしていきます。

住宅に隣接する道路や集落間の連絡道路もできる限り除雪しますが、小路については除雪車が入れ、雪を積み上げる場所が確保されている場合でなければできませんのでご理解ください。また、雪を積み上げる場所として空き地や広場を一時的にお借りする場合がありますので、ご協力お願いします。

市長リポート



No.34

ロンドンの公園で

先日訪れたロンドンの公園を見て感心したことがあります。一つは、ベンチがたくさん置いてあり、しかも、ベンチの下には足元が汚れないように石を敷き詰めるなど、休むための細かい配慮がなされていたこと。さらに、公園の中は自然の姿そのままにあるということです。たとえば、リスが木から下りてきて人の手から木の実を受け取ったり、小鳥がえさをついばんだり、人工的な感じはまったくありませんでした。

こうした自然そのままの公園がある一方で、人が集う広場的な公園もあります。散策する、人が集う、遊ぶ、休む、それぞれの目的に合わせた多彩な公園があるのです。そして一つひとつの公園が周囲の建物とよくマッチしていました。

自然と触れ合いながらゆったりとした時間を過ごせる、そんな公園整備を、まちづくりと考える合わせながら進めていきたいと感じました。

小畑 元